

総合計画策定推進委員会幹事会(令和5年11月28日)指摘事項と対応

1. 協議事項

(1) 第6次草津市総合計画第2期基本計画の策定方針について

【資料:協1-論点整理資料、協1-1~3、協1-参考1】

| | 意見 | 対応欄 |
|---|---|---|
| 1 | <p>【協1-1】「4 策定の視点」の「(4) 情勢を踏まえた柔軟かつ慎重な計画づくり」について、SDGsは第1期基本計画から取り組んでいて基本構想にも書いていることなので、SDGs、DX、ウェルビーイングの3つは並列で新たに取り入れると言うよりは、SDGsは骨組として取組を維持・継続しつつ、その上に新たにDXやウェルビーイングといった新たな要素を付加する、という捉え方が良いのではないか。</p> | <p>御指摘のとおり、基本構想において『SDGs』の視点を踏まえたまちづくりを進める」と記載されていることから、「4 策定の視点」からSDGsの記載を削除しました。</p> |
| | <p>修正前</p> <p>SDGsの取組や、DX(デジタルトランスフォーメーション)の加速、ウェルビーイングの観点等の国の動向を注視しながら、社会情勢の変化を柔軟に捉えつつ、第2期基本計画の検討を行うこととします。</p> | <p>修正後</p> <p>DX(デジタルトランスフォーメーション)の加速、ウェルビーイングの概念の全国的な広まり等を踏まえながら、社会情勢の変化を柔軟に捉えつつ、第2期基本計画の検討を行うこととします。</p> |
| 2 | <p>【協1-1】「4 策定の視点」の「(4) 情勢を踏まえた柔軟かつ慎重な計画づくり」で「ウェルビーイングの観点等の国の動向を注視しながら」とあるが、国がウェルビーイングを積極的に打ち出す前から、草津市では基本構想で「健幸創造都市」を謳って取組を進めているのだから、ウェルビーイングに関する記載については国の動向を注視するものではなく、もっと主体的に意識付けて進めていくべきものではないのか。</p> | <p>御指摘のとおり、本市は「健幸創造都市草津」を将来に描くまちの姿として基本構想に掲げ、ウェルビーイングの向上に向けた取組を推進しております。</p> <p>一方、「4 策定の視点」の(4)では、第2期基本計画の策定にあたって踏まえるべき社会情勢について言及したものです。</p> <p>これらのことを踏まえて、記載を修正しました。</p> |
| | <p>修正前</p> <p>SDGsの取組や、DX(デジタルトランスフォーメーション)の加速、<u>ウェルビーイングの観点等の国の動向を注視しながら</u>、社会情勢の変化を柔軟に捉えつつ、第2期基本計画の検討を行うこととします。</p> | <p>修正後</p> <p>DX(デジタルトランスフォーメーション)の加速、<u>ウェルビーイングの概念の全国的な広まり等を踏まえながら</u>、社会情勢の変化を柔軟に捉えつつ、第2期基本計画の検討を行うこととします。</p> |

| | 意見 | 対応欄 |
|---|---|---|
| 3 | <p>【協1-2】で地域別懇談会と市民意識調査を今回実施しないとしているが、第3期基本計画の策定においても実施しないのか。</p> | <p>地域別懇談会と市民意識調査は基本構想の策定、将来ビジョンの検討のために行っていたものであることから、第3期基本計画の策定においても実施する予定はしておりません。</p> <p>策定体制図の右側、「第6次草津市総合計画策定体制」に「(基本構想・第1期基本計画)」を追記しました。</p> |